

## 保護司とは～その活動と学生との連携～

平 野 潔<sup>1</sup>

### 保 護 司 と は

保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアである<sup>2</sup>。保護司は、保護観察官と協働して保護観察に当たるほか、生活環境の調整、“社会を明るくする運動”をはじめとした犯罪予防活動などにも取り組んでいる。しかしながら、保護司とはどのような人で、実際にどのような活動をしているのかは、あまり知られていない。そこで、出所者の更生を支えるボランティアである保護司についての理解を深めたいと考え、本学習会を企画した。再犯防止は、わが国の刑事政策においても喫緊の課題であり、それは同時に地域の課題でもあるため、地域未来創生センターに共催を依頼した。

### 学習会の概要

2023年度第2回の学習会は、2023年12月23日(土)に、弘前大学人文社会科学部校舎4階の多目的ホールで開催された。

冒頭、まず平野より、「更生保護制度の概要」と題して、本学習会の開催趣旨の説明と合わせて、更生保護の具体的内容、更生保護を支える人々についての説明を行った。

その後、弘前地区保護司会で保護司をされている、青森家庭少年問題研究会の会員から、「保護司活動の実際」というテーマのもと、「保護司とは」「保護司活動の実際」「保護司として思うこと」について、話していただいた。

続いて、「学生による更生保護活動」として、まず、青森県立保健大学の齋藤史彦氏より、出所者等および協力雇用主へのインタビューを実施し、その結果を大学祭において展示すると同時に、冊子として刊行した「社会福祉研究演習Ⅰ」における取り組みが紹介された。また、弘前大学の大谷伸治氏より、本学の学生サークル teens & law と弘前地区保護司会との交流会を中心に、本学における取り組みが紹介された。

最後に、意見交換・質疑応答が行われたが、来場者の中に更生保護関係者が多かったこともあり、活発な議論が行われた。

### 今後に向けて

この冬一番の積雪量と思われる中、23人の方に来場していただくことができた。青森家庭少年問題研究会においても、更生保護に関わる活動は大きな柱の一つであるため、今後も保護観察所や保護司会と連携しながら、様々な活動を行っていききたい。

<sup>1</sup> 弘前大学人文社会科学部。

<sup>2</sup> 保護司の詳細は、法務省 HP ([https://www.moj.go.jp/hogo1/kouseihogoshinkou/hogo\\_hogo04-02.html](https://www.moj.go.jp/hogo1/kouseihogoshinkou/hogo_hogo04-02.html))などを参照(最終閲覧日:2024年1月9日)。

# 青森家庭少年問題研究会 2023年度 第2回学習会

## 保護司とは ～その活動と学生との連携～

14:00～14:15	「更生保護制度の概要」 平野 潔(弘前大学人文社会科学部)
14:15～15:15	「保護司活動の実際」 弘前地区保護司会保護司
15:15～15:45	「学生による更生保護活動」 齋藤 史彦(青森県立保健大学健康科学部) 大谷 伸治(弘前大学教育学部)
15:45～16:15	質疑応答・意見交換

日 時	2023年12月23日(土) 14:00～16:15
会 場	弘前大学人文社会科学部校舎4階多目的ホール
主 催	青森家庭少年問題研究会
共 催	弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター
後 援	弘前地区保護司会

参加無料・  
事前申し込み不要

お問い合わせ

弘前大学人文社会科学部 平野  
Tel : 0172-39-3199  
E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp